

原

小

繁

盛

記

令和8年7月3日

呉市立原小学校
校長 梶本浩史

〈総合的な学習の時間で育つ力〉

～「学校のひみつを見つけたい」 3年生編～

3年生になると、子供たちの学びは大きく広がります。これまで親しんできた生活科に代わり、「社会科」「理科」、そして「総合的な学習の時間」が始まります。総合的な学習の時間は、単に知識を増やす学習ではありません。自分で課題を見付け、調べる方法を考え、仲間と協力しながら学びを深めていく力を育てることを大切にしています。そのため、3年生はまず、学習の進め方や調べ方、情報のまとめ方、そしてゴールの設定の仕方など、「学び方そのもの」を担当とともに学んでいます。

1学期のテーマは「学校のひみつを見つけたい」です。校章に込められた意味や学校の歴史など、身近な学校に目を向けながら、学校や地域の魅力を再発見する学習に取り組みました。

まず子供たちは、「学校で気になること」「もっと知りたいこと」「不思議に思うこと」を出し合い、学習課題を設定しました。そして、その課題を解決するためにはどのような方法で調べればよいのかを話し合い、「校長室で資料を調べる」「保護者や地域の方に話を聞く」「インターネットで調べる」という三つの方法を選び、それぞれのグループで調査を進めました。

地域の方への聞き取りを担当したグループは、昔の卒業生に直接電話をかけたり、オンラインでつないだりして話を伺いました。初めて話す相手に電話をかけることは、大人でも緊張するものです。しかし、事前に質問を整理し、電話での話し方やマナーについて学んでいたことで、相手に失礼のない受け答えができ、必要な情報をしっかりと集めることができました。子供たちにとって、自分の思いを相手に伝え、社会の中で人とつながる貴重な体験となったようです。

今は広島市で開業医としてご活躍中の、第11期卒業生の方とオンラインでつなぎ、質問させていただきました。



この学習で最も大切にしているのは、「学校のことを詳しく知ること」だけではありません。課題を見付け、自ら情報を集め、整理・分析し、仲間と協力しながら考えを深め、それを相手に分かりやすく伝えるという一連の学びの過程そのものに大きな価値があります。

「総合的な学習の時間」は、このような探究的な学びを通して、主体的に学ぶ力や課題解決力、コミュニケーション能力、協働する力を育てることをねらいとしています。変化の激しいこれからの社会では、答えのない課題に向き合い、多様な人と協力しながらよりよい解決策を考えていく力が求められます。子供たちは学校という身近な題材を通して、将来につながる「生きる力」の土台を、一步一步着実に育てています。